

5.総会等報告

(1) 2015年度地域安全学会総会 報告

1) 2014年度事業報告

(1) 理事会の開催

2014年度は理事会を下記のとおり開催した。

- 第1回 2014年 5月16日(金) (兵庫)、第2回 2014年7月19日(土) (東京)
第3回 2014年9月6日(土) (東京) 第4回 2014年11月7日(金) (静岡)
第5回 2014年1月23日(土) (東京) 第6回 2014年3月28日(土) (東京)

(2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した。

日時：2014年5月16日(金)～17日(土)

場所：兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

(人と防災未来センター、兵庫県立大学防災教育センター)

- ① 一般論文発表：5月16日(金) 13:00-16:00、41件
- ② 2014年度地域安全学会総会：5月16日(金) 16:00～17:30
- ③ オーガナイズドセッション型公開研究会：5月17日(金) 10:00～12:00
テーマ 1：復興まちづくり-阪神と東日本との比較- (コーディネート：市古太郎)
テーマ 2：事業継続計画 (コーディネート：紅谷昇平)
テーマ 3：行政と NPO との連携による被災地支援 (コーディネート：阪本真由美)
- ④ 現地見学会：5月17日(土) 13:30～18:00
- ⑤ 「人防『バックヤード』見学と長田復興まちあるき」
 - ・人と防災未来センター展示『バックヤード』見学コース
 - ・阪神・淡路大震災の語り部による語り
 - ・長田の町の復興と地域人材支援センターの取り組み
 - ・AR を使った震災まちあるき体験

(3) 東日本大震災連続ワークショップ2014 in 宮古

下記の企画を実施した。

日時：2013年10月18日(土)～19日(日)

場所：宮古市民総合体育館 シーアリーナ (研究会)

岩手県立大学宮古短期大学部 (シンポジウム)

- ① 東日本大震災ワークショップ：21件
- ② 東日本大震災シンポジウム(宮古市 津波防災の日イベント)
- ③被災地および復興状況見学会

(4) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した。

日時：2013年11月7日(金)～8日(土)

場所：静岡県地震防災センター

査読論文発表：33件，一般論文ポスター発表：36件

(5) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- ・春季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.34」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No.22(電子ジャーナル論文)、No.23

(電子ジャーナル論文)、No.24(研究発表会論文)」を刊行した。
・秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.35」を刊行した。
地域安全学会論文集No.23、No.25(電子ジャーナル論文)をホームページ上に公開した。

(6) 地域安全学会論文賞・論文奨励賞・年間優秀論文賞の選出

・査読論文(電子ジャーナル)No.22(2014.3)、査読論文(電子ジャーナル)No.23(2014.7)および査読論文(研究発表会)No.24(2014.11)に掲載された合計48編の論文を対象として、2014年地域安全学会論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、本年は「該当なし」となった。
・地域安全学会論文集No.24(2014.11)に掲載された論文のうち、地域安全学会論文奨励賞の対象となる20編の査読論文に対し審査が行われた。その結果、1編の論文の筆頭著者が選出された。

① 「被災者の復興感からみた東日本大震災の生活復興過程—大船渡・気仙沼・新地の三カ年の被災者調査から—」
土屋依子(明治大学)

・査読論文(電子ジャーナル)No.22(2014.3)、査読論文(電子ジャーナル)No.23(2014.7)および査読論文(研究発表会)No.24(2014.11)に掲載された合計48編の論文を対象として、2014年地域安全学会年間優秀論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、本年は2編の論文が選出された。

① 「持続の危ぶまれる地域での住民主体による事前復興まちづくり計画の立案初動期の課と対策」

井若 和久(徳島大学)

② 「防犯カメラ映像を用いた大規模集客施設での地震時の人間行動分析—震度と人間行動の対応—」

藤岡 正樹(東京工業大学)

(7) 地域安全学会「技術賞」の選出

第8回目を迎えた2014年度地域安全学会技術賞は、秋季大会から3件の応募登録があった。

最終的に2件の応募書類(1件は辞退)が提出され、これを対象に審査を行った。審査会における審議の結果、本年度は該当者なしとなった。

(8) 地域安全学会「優秀発表賞」の選出

第34回(2014年度)地域安全学会研究発表会(春季)において、41編の口頭発表が行われ、た。審査の結果、以下の発表を行った1名を授賞対象者として選出した。

① 「下水道 BCP 訓練における評価方法の有効性の考察」

有友春樹氏(日本ミクニヤ株式会社)

第35回(2014年度)地域安全学会研究発表会(秋季)において、36編の一般論文のポスター発表が行われた。審査の結果、以下の発表を行った4名を授賞対象者として選出した。

① 「デジタルサイネージにおける降雨情報ならびに防災啓発情報伝達のための効果的なデザインの検討」

安本真也氏(早稲田大学)

② 「携帯型情報端末を用いた被災建築物応急危険度判定の支援について」

石井儀光氏(独立行政法人建築研究所)

③ 「2014年広島土砂災害における空撮写真を用いた地形モデルの作成とLiDARデータとの比較」

河野洋行氏(東京工業大学)

④ 「東日本大震災と近所づきあいの変化—災害回復力ある地域コミュニティ

の要因分析ー」
川脇康生氏（兵庫県）

(9) ニュースレター発行とホームページ管理

2014年度はニュースレターNo.87ーNo.90の計4号を発行し、学会ホームページ上に掲載した。今後、学会の広報活動の柱としてホームページを位置づけ、引き続き内容の充実を図っていくこととした。

(10) 会員メーリングリストによる情報提供

会員への迅速な情報発信を目指して、メールによる情報配信を行った。個人情報保護を考慮しつつ、効率的な会員サービスと会員管理を進めた。

(11) 企画研究小委員会研究活動

企画研究小委員会において3テーマについて研究活動を実施した。

(12) 東日本大震災関連活動

- 1) 岩手県宮古市において「東日本大震災連続ワークショップ2014 in 宮古」を開催した。
- 2) 東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「地域安全学会東日本大震災特別論文集No.3」を刊行した。

(13) 国際学術交流

2014年9月28日から10月1日にかけて、アメリカ合衆国コロラド州ボルダーにて、第3回国際都市防災会議(3rd International Conference on Urban Disaster Reduction)を米国EERIと共催した。アメリカ、韓国、台湾、ニュージーランド、日本からの参加者が集い研究成果の報告を行った。その後、Lyons(ライオンズ)の水害被災地フィールド視察を行った。また、11月20日~21日にかけて第2回アジア都市防災会議(The 2nd Asian Conference on Urban Disaster Reduction)が台湾の台北で開催され、韓国、台湾、日本からの参加者が集い研究成果の報告会を行った。さらに、3月14日~3月18日まで仙台で行われた国連防災会議では、台湾災害危機管理学会との共催でパブリックフォーラムを開催した。

(14) 防災学協会連合組織への参加

日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災・阪神淡路大震災等の経験を国際的にどう活かすか」(2013年11月29日(土))におけるパネルディスカッションに糸井川副会長が参加し、セッション2の「社会面を中心とした議論」において、地域安全学会による東日本大震災への取り組みについて報告した。

(15) シンポジウム等の共催・参加

2013年7月10日11日建築会館で開催された「安全工学シンポジウムーサステナブルな社会の安全・安心ー」を共催した。このシンポジウムは、日本学術会議主催であり、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等が開催された。

(16) 役員選挙の実施

2015年度新役員選挙を実施し、理事22名、監事1名を選出した。

(17) 会員数および年会費納入（2015年3月末）

	会員数	2014年度 会費納入状況
賛助会員	1	1
正会員	598	472
学生会員	106	65

2) 2014 年度決算

決算に関して、井野監事および山崎監事による監査を受けた。指摘された修正を取り入れた以下の決算報告に対して承認をいただいている。

貸借対照表 (2015年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	248,546	未払金	923,078
普通預金	1,941,115	預り金	7,656
(うち、国際交流事業用資金)	-66,560	前受金	33,000
【口座別内訳】 ゆうちょ銀行	490,517	未払法人税等	70,600
みずほ論文口座	0		
みずほ一般論文	0		
みずほワークショップ	0		
振替預金	184,349		
春季研究発表	292,541		
秋季研究発表	598,575		
りそな査読論文	215,122		
りそなワークショップ	160,011		
商品	1,966,283		
未収会費	1,325,000		
未収入金	360,000		
ソフトウェア	213,444	負債合計	1,034,334
		その他一般正味財産	5,020,054
		正味財産合計	5,020,054
資産合計	6,054,388	負債・正味財産合計	6,054,388

損益計算書

(2014年4月1日～2015年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額
【Ⅰ 収入】	
1 会費収入	3,440,000
2 寄付金収入	0
3 受取助成金	2,283,876
4 事業収入	
ア 梗概集登載料	855,000
イ 梗概集販売料	400,324
ウ 論文集登載料	1,370,000
エ 論文集査読料	680,000
オ 論文集販売料	175,800
カ DVD販売料	45,164
5 雑収入	
ア 懇親会費	811,000
イ 視察費	215,000
ウ その他	0
6 受取利息	632
収入合計	10,276,796
【Ⅱ 支出】	
1 人件費	57,000
2 通信・広報費	242,486
3 印刷・編集費	1,607,787
(印刷編集費棚卸対応分)	-256,047
4 会議費	184,574
5 旅費交通費	1,293,817
6 交際費	851,738
7 委託費	1,072,321
8 消耗品費	25,634
9 事務用品費	2,322
10 減価償却費	71,148
11 支払手数料	28,804
12 謝金	170,000
13 補助金	2,250,000
14 事務局費	648,000
15 租税公課	170,713
16 運営費	482,864
17 雑費等	56,832
支出合計	8,959,993
税引前当期利益	1,316,803
法人税等	70,600
当期利益	1,246,203
前期繰越利益金額	3,773,851
次期繰越利益金額	5,020,054

2014年度地域安全学会収支計算書

(2014年4月1日～2015年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
1.事務局・総務・総会・理事会				
会費収入	2,660,000	2,646,000	14,000	正会員:5,000円×486名(内5名H24年度以前分) 学生会員:2,000円×58名(内1名H24年度以前分) 賛助会員:100,000円×1社 ※未収会費は除く
小 計	2,660,000	2,646,000	14,000	
3.学術				
1)事業収益				
ウ 論文集登載料	1,500,000	1,370,000	130,000	登載料 (2万円+5,000円/2ページ) 電子ジャーナル (No.22) : 8編 電子ジャーナル (No.23) : 7編 研究発表会論文 (No.24) : 33編
エ 論文集査読料	900,000	680,000	220,000	査読料 10,000円×68編
オ 論文集販売料	240,000	175,800	64,200	@4,000×43冊、送料
カ DVD販売料	50,000	45,164	4,836	DVD販売料
小 計	2,690,000	2,270,964	419,036	
4.国際交流				
受取助成金等	0	1,923,876	▲ 1,923,876	EARTHQUAKE ENGINEERING
小 計	0	1,923,876	▲ 1,923,876	
5.春季研究発表会				
受取助成金等	360,000	360,000	0	ひょうご安全の日推進事業
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	400,000	330,000	70,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×35編
イ 梗概集販売料	80,000	178,233	▲ 98,233	@4,000×44部、DVD販売料5枚、送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	260,000	302,000	▲ 42,000	一般6,000×47名、学生2,000×10名
イ 視察費	0	84,000	▲ 84,000	3,000×28名
小 計	1,100,000	1,254,233	▲ 154,233	
6.秋季研究発表会				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	350,000	360,000	▲ 10,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×39編
イ 梗概集販売料	120,000	167,485	▲ 47,485	@4,000×40部、DVD販売料3枚、送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	340,000	320,000	20,000	一般6,000×44名、学生2,000×28名
小 計	810,000	847,485	▲ 37,485	
7.東日本大震災連続ワークショップ				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	275,000	165,000	110,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×21編
イ 梗概集販売料	60,000	54,606	5,394	No.1 3,000×2部 +送料、No.3 2,000×24部 +送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	260,000	189,000	71,000	一般6,000×31名、学生2,000×1名
イ 視察費	0	131,000	▲ 131,000	参加費5,000×26名 +昼食代のみ1,000×1名
小 計	595,000	539,606	55,394	
8.受取利息	5,000	632	4,368	
収入合計	7,860,000	9,482,796	▲ 1,622,796	

支出の部

(単位：円)

科 目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
1.事務局・総務・総会・理事会				
1) 通信費・広報費	226,960	169,332	57,628	総会の案内資料印刷・発送代、切手、電話代等
2) 印刷編集費	300,000	339,815	▲ 39,815	案内送付用封筒・ハガキ・案内資料印刷代等 メダル作成代※追加分の投資者負担分差引後
3) 会議費	170,000	111,480	58,520	理事会会場代、監査会場代
4) 旅費交通費	929,000	566,527	362,473	理事会交通費、大会事務局交通費、宿泊費、振込手数料等
5) 交際費	6,000	30,000	▲ 24,000	30学会フォーラム共催負担金
6) 委託費	972,000	972,000	0	会計事務所委託費用27,000円 H26年4月～H27年3月 事務局委託費用54,000円 H26年4月～H27年3月
7) 消耗品費	120,000	23,109	96,891	消耗品、10万円以下の備品
8) 租税公課	70,000	170,713	▲ 100,713	法人住民税(70,000円)、収入印紙代等(100,000円)、源泉所得税
9) 予備費	186,040	0	186,040	
小 計	2,980,000	2,382,976	597,024	
2.広報				
1) 委託費	150,000	129,168	20,832	HP情報更新料・サーバ利用料、振込手数料
小 計	150,000	129,168	20,832	
3.学術				
1) 通信費・広報費	70,000	64,240	5,760	論文発送料
2) 印刷編集費	800,000	865,360	▲ 65,360	論文集No.22.23.24印刷料 250部、コピー代等
3) 会議費・旅費交通費等	520,000	471,181	48,819	学術委員会会場代、交通費、昼食代
4) 委託費	600,000	619,801	▲ 19,801	研究発表会論文システム運営費
5) 消耗品費	0	2,041	▲ 2,041	消耗品、10万円以下の備品
小 計	1,990,000	2,022,623	▲ 32,623	
4.国際交流				
1) 補助等	0	2,236,768	▲ 2,236,768	国際交流会議参加のための旅費の補助(手数料込)
2) 運営費	100,000	70,000	30,000	第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム主催者負担金 (台湾防災学会負担分差引後)
小 計	100,000	2,306,768	▲ 2,206,768	
5.春季研究発表会				
1) 人件費	30,000	21,000	9,000	アルバイト：7h×3名
2) 通信費・広報費	0	1,576	▲ 1,576	
3) 印刷編集費	250,000	158,112	91,888	梗概集No.34×80部、振込手数料
4) 旅費交通費	220,000	218,270	1,730	アルバイト・投資者交通費、現地見学会(バス、会場代等)
5) 交際費	260,000	236,000	24,000	懇親会費用
6) 消耗品費	0	1,555	▲ 1,555	賞状用紙他
7) 謝金	50,000	120,000	▲ 70,000	パネリスト、ミニコンサート謝礼
小 計	810,000	756,513	53,487	
6.秋季研究発表会				
1) 人件費	30,000	46,940	▲ 16,940	アルバイト給料・交通費
2) 通信費・広報費	0	3,296	▲ 3,296	梗概集送料、賞状送付料
3) 印刷編集費	300,000	124,696	175,304	梗概集No.35×80部、振込手数料
4) 交際費	340,000	394,578	▲ 54,578	懇親会会場代、料理60名分
5) 消耗品費	0	1,251	▲ 1,251	賞状、賞状用筒
6) 謝金	0	30,000	▲ 30,000	パフォーマー謝金
7) 運営費	370,000	256,116	113,884	昼食、飲み物代、パネル設置代
小 計	1,040,000	856,877	183,123	
7.東日本大震災連続ワークショップ				
1) 通信費・広報費	0	4,042	▲ 4,042	
2) 印刷編集費	250,000	122,396	127,604	特別論文集No.3(CD付) 80部
3) 旅費交通費	200,000	192,138	7,862	現地見学会 バス代・昼食代、会場使用料等
4) 交際費	260,000	189,000	71,000	懇親会飲食代5,400×35名
5) 謝金	0	20,000	▲ 20,000	講師謝礼
小 計	710,000	527,576	182,424	
8.その他事業				
1) 旅費交通費等	60,000	85,559	▲ 25,559	研究小委員会の旅費交通費、土産代
2) 補助等	20,000	20,000	0	安全工学シンポジウム 共催分負担金
小 計	80,000	105,559	▲ 25,559	
支出合計	7,860,000	9,088,060	▲ 1,228,060	
収入-支出		394,736		

なお、科目間の流用を認めます。

2015年5月29日
上記の通り収支決算を報告いたします。

地域安全学会

監事 井野 盛夫

監事 山崎 文雄



3) 会員の除名について

地域安全学会定款第10条により、過去2年度分（2013年度、2014年度）の会費を滞納している正会員（65名）及び学生会員（24名）の除名について審議を行う。

(退 会)	
第 10 条 正会員、学生会員、名誉会員又は賛助会員は、次に掲げるいずれかの事由によって退会する。	
1. 各会員本人の申し出。ただし、退会の申し出は、当法人所定の退会届により 1 か月前にするものとするが、やむを得ない事由があるときは、いつでも退会することができる。	
2. 死亡又は解散	
3. 総会員の同意	
4. 除名	
②正会員、学生会員、名誉会員又は賛助会員の除名は、次に掲げるいずれかの事由により、総会の決議によってすることができる。	
1. 会費を2年以上滞納したとき	
2. 当法人の名誉を傷つけ又は当法人の目的に反する行為があったとき	
3. その他正当な事由があるとき	

除名の対象となる正会員及び学生会員を下記に示す。

■ 正会員(65名)

会員番号	氏名	会員番号	氏名
1006	渥美 公秀	1333	矢守 克也
1010	天羽 誠二	1335	吉田 聡
1011	荒井 治	1350	佐々木 愛郎
1012	新井 伸夫	1357	深田 秀実
1022	石栗 伸郎	1363	森本 恵美
1032	井上 聡	1375	木村 雄介
1052	伊藤 克己	1377	小村 隆史
1062	岡田 恒男	1380	小出 治
1091	川村 達彦	1398	高橋 忍
1093	岸上 明子	1404	木下 茂樹
1095	北川 正己	1426	高松 孝親
1097	木平 秀夫	1427	加瀬 隆
1125	蔡 垂功	1434	鄭 炳表
1127	斉藤 幸司	1439	沓川 一也
1129	斉藤 徹	1441	沼田 宗純
1149	清水 智乗	1451	吉森 和城
1160	杉井 完治	1472	岩元 みなみ
1163	鈴木 要	1478	青江 多恵子
1170	清家 規	1479	顧林生
1175	高雄 眞	1485	齋藤 弘美
1185	竹内 裕希子	1493	八木下 沙織
1193	田中 礼治	1505	杉本 識
1199	陳 亮全	1512	尾藤 文人
1223	難波 義郎	1522	宮永 正稔
1236	蓮本 浩介	1523	津田 圭介
1245	林 孝幸	1525	中須 正
1249	須見 徹太郎	1527	濱田 雄一郎
1253	久木 章江	1533	堀 苑子
1259	蛭田 昭一	1553	川口 裕樹
1273	細川 顕司	1554	比野 裕介
1288	水井 良暢	1562	Md. Faiz SHAH
1300	村岡 七重	1588	佐藤 唯行
1306	室井 房治		

■ 学生会員(24名)

会員番号	氏名
1413	北田 聡
1419	川畑 達哉
1420	西羅 憲作
1435	朴 ジョン英
1445	田代 啓
1452	伊藤 文也
1453	中野 慎吾
1454	富塚 伸一郎
1497	劉 忠剛
1498	姜 信旭
1504	石川 哲也
1507	喜田 健資
1515	島 広匡
1534	方 樹名
1540	大城 ゆりか
1548	岡本 篤興
1549	戸井田 亮祐
1555	酒本 真先
1569	尹 南二
1572	羅 曉軒
1573	Yasmin BHATTACHARYA
1575	韓 海燕
1579	渡部 英樹
1611	高浪 裕三

4) 2015年度役員の改選結果

(1) 改選対象役員

1) 理事

池田 浩敬 常葉大学大学院環境防災研究科
岩田 孝仁 静岡県危機管理部
加藤 孝明 東京大学生産技術研究所
清野 純史 京都大学大学院工学研究科
越村 俊一 東北大学災害科学国際研究所
重川希志依 常葉大学大学院環境防災研究科
庄司 学 筑波大学システム情報系
立木 茂雄 同志社大学社会学部
能島 暢呂 岐阜大学工学部
村尾 修 東北大学災害科学国際研究所
目黒 公郎 東京大学生産技術研究所
矢代 晴実 防衛大学校システム工学群

2) 監事

山崎 文雄 千葉大学大学院工学研究科

以上 13 名

(2) 選出役員

1) 理事

池田 浩敬 常葉大学大学院環境防災研究科
稲垣 景子[#] 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院
加藤 孝明 東京大学生産技術研究所
清野 純史 京都大学大学院工学研究科
越村 俊一 東北大学災害科学国際研究所
指田 朝久[#] 東京海上日動リスクコンサルティング
庄司 学 筑波大学システム情報系
立木 茂雄 同志社大学社会学部
能島 暢呂 岐阜大学工学部
藤本 一雄[#] 千葉科学大学危機管理学部
村尾 修 東北大学災害科学国際研究所
目黒 公郎 東京大学生産技術研究所
八木 宏晃[#] 静岡県交通基盤部
矢代 晴実 防衛大学校システム工学群

2) 監事

山崎 文雄 千葉大学大学院工学研究科
重川希志依[#] 常葉大学大学院環境防災研究科

以上 16 名
([#]2015年度新規選出)

5) 2015年度事業計画

(1) 理事会の開催

2015年度は理事会を下記のとおり開催する。

第1回 2015年 5月29日（金）伊豆大島（大島町開発総合センター）

第2回 2015年 7月25日（土）東京（同志社大学東京オフィス）

第3回 2015年 9月19日（土）東京（同志社大学東京オフィス）

第4回 2015年 11月13日（金）静岡（静岡県地震防災センター）

第5回 2016年1月23日（土）東京（同志社大学東京オフィス）

第6回 2016年 3月26日（土）東京（同志社大学東京オフィス）

(2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催する。

日時：2015年5月29日（金）～30日（土）

場所：伊豆大島（大島町開発総合センター）

（東京都大島町元町1丁目1番14号）

(3) 東日本大震災連続ワークショップ2015 in 気仙沼 の開催

開催可能日程候補

第1候補： 10/2-3または10/3-4

第2候補： 10/23-24または10/24-25

(4) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催する

日時：2015年11月13日（金）～14日（土）

場所：静岡県地震防災センター

(5) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No.37」を刊行し、優秀発表賞を選出する。

地域安全学会論文集の論文募集は年2回とし、今年度は地域安全学会論文集 No.27、同 No.28（電子ジャーナル論文）の論文を募集する。

秋季研究発表会において「地域安全学会論文集 No.25、No.26、No.27」を刊行し、地域安全学会論文奨励賞を選出する。

地域安全学会論文集 No.26（電子ジャーナル論文）、同 No.28（電子ジャーナル論文）をホームページ上で公開する。

地域安全学会論文集（No.25、No.26、No.27）を対象に地域安全学会論文賞および年間優秀論文賞を選出する。

（6）広報活動の強化と会員管理

サービスの向上を目指して、会員へのメールによる各種情報配信、ホームページによる情報提供、印刷物による情報発信について、各々の機能分化した情報提供を実施する。

（7）地域安全学会技術賞の選出

表彰委員会において第8回地域安全学会技術賞の選考を行う。

（8）企画研究小委員会活動

企画研究小委員会において3テーマについて研究活動を実施する。

（9）国際学術交流

2016年10月にニュージーランドで開催される第4回国際都市防災会議のため、2015年7月に米国ブルームフィールドで開催されるNatural Hazards Workshopの機会を利用してその準備会に参加する。この他、必要に応じて、各国の防災研究者との情報交換を進める。

（10）役員選挙の実施

2016年度新役員選挙を実施し、理事22名、監事3名を選出する。

（11）東日本大震災に関する支援・研究活動の推進

東日本大震災特別委員会による被災地支援・研究活動の実施、東日本大震災学協会連絡協議会への参画を行う。

（12）30周年に向けた企画の検討

学会の設立に関わったFounding Membersへのオーラル・ヒストリーを記録する。

6) 2015年度予算

2015年度地域安全学会予算(案)

(2015年4月1日～2016年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科 目	①2015年予算	②2014年決算	備 考
1.会費収入	3,723,000	2,646,000	正会員:7,000円×493名 学生会員:2,000円×86名 賛助会員:100,000円×1社
2.寄付金収入	0	0	
3.受取助成金等	0	2,283,876	
4.春季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	350,000	330,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)
イ 梗概集販売料	180,000	178,233	1冊 4,000円
2)雑収入			
ア 懇親会費	300,000	302,000	
イ 視察費	90,000	84,000	
ウ その他	0	0	
小 計	920,000	894,233	
5.秋季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	360,000	360,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)
イ 梗概集販売料	170,000	167,485	1冊 4,000円
2)雑収入			
ア 懇親会費	400,000	320,000	
イ 視察費	0	0	
ウ その他	0	0	
小 計	930,000	847,485	
6.東日本大震災連続ワークショップ			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	170,000	165,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)
イ 梗概集販売料	60,000	54,606	1冊 2,000円
2)雑収入			
ア 懇親会費	190,000	189,000	
イ 視察費	140,000	131,000	
ウ その他	0	0	
小 計	560,000	539,606	
7.学術			
1)事業収益			
ウ 論文集登載料	1,400,000	1,370,000	登載料(2万円+5,000円/2ページ)
エ 論文集査読料	700,000	680,000	査読料:1編10,000円
オ 論文集販売料	180,000	175,800	1冊 4,000円
カ DVD販売料	50,000	45,164	1枚:2万円(会員価格)
小 計	2,330,000	2,270,964	
8.受取利息	5,000	632	
収入合計	8,468,000	9,482,796	

支出の部

(単位：円)

科 目	①2015年予算	②2014年決算	備 考
1.事務局・総務			
2) 通信費・広報費	100,000	82,922	切手、送料、電話代等
3) 印刷編集費	5,000	1,620	コピー代
4) 会議費	10,000	6,480	監査会場代
5) 旅費交通費	260,000	252,349	監査のための交通費、大会事務局交通費、宿泊費
6) 交際費	30,000	30,000	
7) 委託費	324,000	324,000	会計事務所委託費月27,000円 H27年4月～H28年3月
8) 消耗品費	30,000	21,111	消耗品、10万円以下の備品
9) 事務用品費	10,000	1,998	事務用文具等
11) 支払手数料	10,000	8,640	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	
14) 事務局費	1,296,000	648,000	事務局委託費月108,000円 H27年4月～H28年3月
15) 租税公課	70,000	170,713	法人住民税、源泉所得税、収入印紙代等
16) 運営費	0	0	
17) 雑費等	0	0	
99) 予備費	0	0	
小 計	2,145,000	1,547,833	
2.広報			
7) 委託費	130,000	128,520	HP情報更新料・サーバ利用料
11) 支払手数料	1,000	648	銀行振込手数料
小 計	131,000	129,168	
3.総会・理事会			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	0	0	
2) 通信費・広報費	90,000	86,410	総会の案内資料印刷・発送代
3) 印刷編集費	350,000	338,195	案内送付用封筒・ハガキ・案内資料印刷、メダル作成代
4) 会議費	110,000	105,000	理事会 会場費
5) 旅費交通費	600,000	301,862	理事会 旅費交通費 理事30名×20,000円
11) 支払手数料	5,000	3,244	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	
小 計	1,155,000	834,711	
4.学術			
2) 通信費・広報費	70,000	64,240	論文発送料
3) 印刷編集費	900,000	865,360	論文集No.25.26.27 印刷料、コピー代
4) 会議費	80,000	73,094	
5) 旅費交通費	400,000	368,707	
7) 委託費	620,000	619,801	研究発表会論文システム運営費
8) 消耗品費	5,000	2,041	消耗品、10万円以下の備品
11) 支払手数料	5,000	5,832	銀行振込手数料
16) 運営費	30,000	23,548	昼食、飲み物代
17) 雑費等	0	0	
小 計	2,110,000	2,022,623	
5.国際交流			
11) 支払手数料	10,000	6,768	
13) 補助等	0	2,230,000	
16) 運営費	100,000	70,000	
小 計	110,000	2,306,768	

科 目	①2015年予算	②2014年決算	備 考
6.春季研究発表会			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	30,000	21,000	
2) 通信費・広報費	2,000	1,576	
3) 印刷編集費	160,000	157,464	梗概集No.36
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	150,000	134,270	アルバイト交通費、授賞者交通費、現地見学会バス
6) 交際費	300,000	236,000	懇親会費用
8) 消耗品費	5,000	1,231	賞状用紙他
9) 事務用品費	5,000	324	文房具代
11) 支払手数料	5,000	648	
12) 謝金	120,000	120,000	パネリスト、パフォーマー謝礼
16) 運営費	90,000	84,000	現地見学会費用（会場使用料、謝金等）
17) 雑費等	0	0	
小 計	867,000	756,513	
7.秋季研究発表会			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	40,000	36,000	
2) 通信費・広報費	5,000	3,296	梗概集送料、賞状送付料
3) 印刷編集費	150,000	123,832	梗概集No.37
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	30,000	10,940	アルバイト交通費
6) 交際費	400,000	394,578	懇親会会場代
8) 消耗品費	5,000	1,251	賞状、賞状用筒
9) 事務用品費	0	0	
11) 支払手数料	5,000	864	
12) 謝金	30,000	30,000	パフォーマー謝金
16) 運営費	260,000	256,116	昼食、飲み物代、パネル設置代
17) 雑費等	0	0	
小 計	925,000	856,877	
8.東日本大震災連続ワークショップ			
2) 通信費・広報費	5,000	4,042	
3) 印刷編集費	150,000	121,316	特別論文集No.3(CD付)
5) 旅費交通費	70,000	142,938	現地見学会 バス代
6) 交際費	190,000	189,000	懇親会
11) 支払手数料	5,000	1,080	銀行振込手数料
12) 謝金	20,000	20,000	講師謝礼
16) 運営費	70,000	49,200	会場使用料、見学会
17) 雑費等	10,000	0	
小 計	520,000	527,576	
9.その他事業			
5) 旅費交通費	200,000	82,751	研究小委員会（2つ）の旅費交通費
6) 交際費	2,000	2,160	
11) 支払手数料	5,000	648	銀行振込手数料
13) 補助等	20,000	20,000	安全工学シンポジウム 共催分担金
16) 運営費	150,000	0	学会30周年記念事業準備費用
小 計	377,000	105,559	
支出合計	8,340,000	9,087,628	

収入-支出	128,000
-------	---------

なお、科目間の流用を認めます。